

- 問1 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。
- 問2 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。
- 問3 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。
- 問4 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。
- 問5 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。
- 問6 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。
- 問7 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。
- 問8 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。
- 問9 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。
- 問10 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。
- 問11 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何か。
- 問12 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。
- 問13 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。
- 問14 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。
- 問15 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。
- 問16 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を ^{ちやくせつ} 通って西へと動いていきます。
問2	答え 太陽の動きや形を ^{かんさつ} 観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直 ^{ちやくせつ} 接見るときに使います。
問3	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問4	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質 ^{せいしつ} があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問5	答え 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問6	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた ^{じょうたい} 状態になります。
問7	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問8	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問9	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといっています。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問10	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問11	答え 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といっています。
問12	答え えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法 ^{ほうほう} です。
問13	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 ^{ほんたいがわ} にできるものを「かげ」といいます。
問14	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところ ^{ちかくせつ} を ^{ちやくせつ} 通って、西へと動きます。
問15	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 ^{ほんたいがわ} にできます。
問16	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 ^{いちが} が変わります。

問1 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何ですか。

問2 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象げんしょうを何といいますか。

問3 太陽を直接ちよくせつ見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問4 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問5 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問6 校庭に、棒ぼう（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問7 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問8 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側はんたいがわにできる暗い部分のことを何といいますか。

問9 北に顔を向けるとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

問10 温度計を使ってももの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるつたわのは温度計のどの部分ですか。

問11 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問12 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問14 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

問15 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問16 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といいます。
問2	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象を「かげの動き」といいます。
問3	答え 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。
問4	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通過して西へと動いていきます。
問5	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。
問6	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問7	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問8	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。
問9	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問10	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問11	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問12	答え 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたく照らしてくれます。
問13	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問14	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問15	答え えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法です。
問16	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。

問1 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問2 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問3 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問4 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問5 太陽が動くと、それとともに地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

問6 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問7 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問8 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

問9 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

問10 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問11 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問12 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問14 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問15 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

問16 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え すべて同じ向きにできる。	ものかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問2	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問3	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 <small>ほんたいがわ</small> にできます。
問4	答え 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたく照らしてくれます。
問5	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象 <small>げんしょう</small> を「かげの動き」といいます。
問6	答え 太陽の動きや形を観察 <small>かんさつ</small> するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接 <small>ちよくせつ</small> 見るときに使います。
問7	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通って、西へと動きます。
問8	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたくて、かわいた状態 <small>じょうたい</small> になります。
問9	答え 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問10	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通って西へと動いていきます。
問11	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問12	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <small>いちか</small> が変わります。
問13	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問14	答え えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法 <small>ほうほう</small> です。
問15	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 <small>ほんたいがわ</small> にできるものを「かげ」といいます。
問16	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。

問1 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

問2 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問3 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

問4 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問5 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問6 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問7 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

問8 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問9 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

問10 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問11 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問12 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

問13 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

問14 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問15 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

問16 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問2	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通して、西へと動きます。
問3	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質 <small>せいしつ</small> があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問4	答え 太陽の動きや形を観察 <small>かんさつ</small> するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接 <small>ちよくせつ</small> 見るときに使います。
問5	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通して西へと動いていきます。
問6	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問7	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <small>いちか</small> が変わります。
問8	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問9	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態 <small>じょうたい</small> になります。
問10	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問11	答え 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたかく照らしてくれます。
問12	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 <small>はんたいがわ</small> にできるものを「かげ」といいます。
問13	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといっています。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問14	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問15	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象 <small>げんしょう</small> を「かげの動き」といいます。
問16	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 <small>はんたいがわ</small> にできます。

問1 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といますか。

問2 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といますか。

問3 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

問4 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問5 太陽を直接ちよくせつ見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問6 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象げんしょうを何といますか。

問7 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側はんたいがわにできる暗い部分のことを何といますか。

問8 校庭こうていに、棒ぼう（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問9 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問10 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

問11 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問12 目をいためないように、太陽を安全に見るときに使う道具はどれですか。

問13 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるつたわのは温度計のどの部分ですか。

問14 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

問15 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問16 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。
問2	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問3	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置が変わります。
問4	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通して、西へと動きます。
問5	答え 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。
問6	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象を「かげの動き」といいます。
問7	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。
問8	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問9	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通して西へと動いていきます。
問10	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問11	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。
問12	答え しゃ光板	太陽の強い光から目を守り、安全に太陽を観察するために使う道具をしゃ光板といいます。
問13	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問14	答え 東	北に顔を向けると、右がわは東になります。ちなみに、左がわは西になります。
問15	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問16	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。